

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
	全体計画			経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4302 創造の家管理事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費					
	事業	010000 創造の家管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。				須坂市スポーツ協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。 次年度の指定管理者を選定する

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数				
算式	施設延べ利用者数+自主事業参加者				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標		10,000	10,000	10,000
	実績	3,858			
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、自主事業参加者の総数を指標とした。				
最終年度	令和4年度はコロナ過のため、目標数値は定めない。				
目標の根拠	令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		12,661	12,397
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,661	12,397
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	711.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,372.1	13,108.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,232	修繕料1,232
12節 委託費	10,882	指定管理委託料10,882
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	547	備品購入546

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	171	修繕料171
12節 委託費	11,926	指定管理者委託料11,926
14節 工事請負費	300	軽運動室鏡設置工事300
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	根拠法令の改正を受けH27に条例改正、勤労青少年の福祉向上のため市が独自で設置している状況 勤労青少年の福祉向上のために事業として継続する必要性は低い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	H27に指定管理施設に移行し、その後施設の利用者は増加している。（コロナ禍の前は毎年延10,000人程度の利用あり） 事業内容が社会教育、生涯学習事業と似通っている部分もあり、指定管理の内容を施設管理と自主事業のみにするなどの検討や、館内に配置のスポーツ振興係への所管替をする方が効果的に実施できるのではと考えられる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	老朽化した施設の長寿命化は実施済み 大規模改修は行わず、必要な維持管理を実施し施設を活用していく方針。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

青少年を対象とした教室については一定程度の必要性はあるが、生活習慣の多様性や少子化の影響もあり、若者の参加はコロナが明けた後戻るかどうかは不明。現状維持が妥当。
施設の老朽化が著しい。大型改修は費用の面で難しいが、毎年いくらかの修繕が必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設を長寿命化する改修は実施しないが、廃止する方針もないことから、日々の点検により必要な修繕を実施する。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
施設の長寿命化は実施済であることから、必要な維持管理を実施していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4306 文化活動振興事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費											
	事業	030000 文化活動振興事業											
事業目的						事業概要・効果							
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。						<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・信州岩波講座の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「第22回信州岩波講座2020」の開催（コロナで中止） ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第23回信州岩波講座2021」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・「第24回信州岩波講座2022」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援 ・キッズシアタープロジェクトを支援 	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数					
算式	年間利用者数・入館者数				単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	53,000	133,500	133,500	133,500	
	実績	35,726				
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理					
最終年度目標の根拠	令和4年度はメセナホール改修が完了したことから令和3年度実績35,726の約200%を目標数値とした。令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする。					
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		10,468	42,986
特定財源	国庫支出金	0	18,325
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,686	2,010
一般財源		5,782	22,651
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,232.8	1,232.8
	計	1,943.9	1,943.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.9
総額		12,411.9	44,929.9

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	385	消耗品費97、印刷製本費288
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,325	信州岩波講座共催負担金1,000、相田みつお実行委員会負担金3,708、文化振興事業団自主事業補助金300、文化芸術協会補助金317
その他	4,758	報酬(会計年度任用職員)3,615、職員手当等(同左期末手当)487、共済費(同左)645、役務費(郵便料)10

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	391	消耗品費94、印刷製本費297
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	39,650	信州岩波講座共催負担金2,500、須坂キッズシアタープロジェクト負担金2,200、文化振興事業団自主事業補助金34,450、文化芸術協会負担金500
その他	2,945	報酬（会計年度任用職員）2,084、職員手当等（同左期末手当）425、共済費（同左）416、役務費（郵便料）20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の文化芸術への関心を高め、豊かな市民生活を実現するため、自主的な文化芸術活動や優れた芸術鑑賞活動を支援している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	文化振興事業団での自主事業支援、信州岩波講座の開催の他、文化芸術協会の活動等を支援している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化芸術活動は効率性だけで測れないところがある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

昨年度に引き続き、メセナホール改修及びコロナ禍の影響を受け、年間利用者数35,000人程度であった。地方創生推進交付金等の財源確保に努める

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

引き続き、文化・芸術・歴史を大切にしたい人づくり、まちづくりを推進する。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

市民の自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤知子
	全体計画						経費区分		-		内線	245-0784
事務事業名	4311 図書館管理運営事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費										
	事業	020000 図書館管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。						図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催をととした市民の生涯学習活動の支援						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等を行う。市町村と県による協働電子図書館に参加し、市民の読書活動の支援を行う	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	年間入館者					
算式	年0.5の増					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	115,680	66,893	70,237	73,748	77,435
	実績	63,708				
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。					
最終年度目標の根拠	平成26年度利用者数（115,105人）より、年0.5%ずつの増※コロナ禍の影響を考慮し、令和3年度実績から年5%の増に目標変更					
指標名	年間貸出冊数					
算式	令和3年度実績から年4.5%の増					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標		232,562	243,027	253,963	265,391
	実績	222,548				
指標選定の理由	コロナ禍の影響により、貸出方法を変更することもあるが、令和4年8月に運用開始する協働電子図書館も含めて、多くの方に図書館を利用し、読書に親しんでいただくことが重要であるため					
最終年度目標の根拠	2018(平成30)年度貸出冊数（265,330冊）の近似値					
指標名						
算式						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		50,285	47,444
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,993	10,157
一般財源		46,292	37,287
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	6.9	9.9
人員コスト	正規職員	2,133.3	1,422.2
	会計年度(フル)	3,295.0	3,295.0
	会計年度(パート)	10,632.9	15,255.9
	計	16,061.2	19,973.1
市民一人当たりの経費		1.3	1.3
総額		66,346.2	67,417.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	102	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼102
10節 需用費	5,358	消耗品費649、燃料費15、食糧費12、光熱水費2,643、印刷製本費702、修繕料1,337
12節 委託費	4,758	保守点検委託料2,084、施設管理委託料509、ほか2,165
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	316	県公共図書館部会・支部負担金18、須高図書館協会負担金265、日本図書館協会負担金23、ほか10
その他	39,751	報酬12,613、役務費441、使用料及び賃借料7,037、備品購入費11,660、ほか8,000

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼180
10節 需用費	4,079	消耗品費585、燃料費51、食糧費20、光熱水費2,833、印刷製本費178、修繕料412
12節 委託費	3,974	保守点検委託料2,171、施設管理委託料521、ほか1,282
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	509	県公共図書館部会・支部負担金18、須高図書館協会負担金265、日本図書館協会負担金23、ほか203
その他	38,702	報酬12,924、役務費529、使用料及び賃借料5,415、備品購入費11,000、ほか8,834

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の生涯学習の支援は必要であり、図書の貸出や学習場所の提供は必要であると考えます。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	コロナ禍の中、市民の在宅時間の充実のために読書は有効であり、図書の貸出を年間を通じて続けたことは、市民生活を送るうえで大いに貢献できたと考えます。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ禍の中、感染対策や工夫をしながら会館、貸出を続けてきたが、コロナ対策に時間と人手が多く取られている現状を踏まえ、より安全でよりよい方法をさらに考えていく必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできたが、申込貸出制の期間があったため、入館者数は目標に達しなかった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

図書館は自ら学ぶ、生涯学習に必要な施設である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

図書館の原点に立ち、学びの支援と活字文化の継承に継続的に取り組んでいく必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者 千葉剛成 全体計画 経費区分 ー 内線 026-246-7100	
事務事業名	4313 博物館管理運営事業
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承
予算 科目	会計 01 一般会計 科目 100604 教育費・社会教育費・博物館費 事業 020000 博物館管理運営事業
事業目的	事業概要・効果
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な市民ニーズに応える。	まるごと博物館の実現に向けて、機能分散型総合博物館拠点である博物館本館（現博物館）及び博物館別館（笠鉾会館）において、資料の収集・保存及び調査研究活動等を行い、特別展等の開催や各種講座・講演会等の事業を推進し、市民の生涯学習の場とするとともに来館者の回遊性を高める。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」参加者68人	「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」（本館）、企画展示（分館）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域との連携協力 学校への協力支援 史資料の収集及び調査研究	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域との連携協力 学校への協力支援 史資料の収集及び調査研究
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域との連携協力 学校への協力支援 史資料の収集及び調査研究	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域との連携協力 学校への協力支援 史資料の収集及び調査研究

指標名	年間入館者数（市立博物館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	4,989			5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名	年間入館者数（笠鉾会館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	2,136			
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	令和3年度 市立博物館と同実績値（5,858）とし、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		36,119	52,776
特定財源	国庫支出金	0	1,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	482	11,422
一般財源		35,637	39,854
人員数（人）	正規職員	1.1	1.1
	会計年度（フル）	2.6	1.4
	会計年度（パート）	1.4	0.7
人員コスト	正規職員	7,822.1	7,822.1
	会計年度（フル）	8,567.0	4,613.0
	会計年度（パート）	2,157.4	1,078.7
	計	18,546.5	13,513.8
市民一人当たりの経費		1.0	1.3
総額		54,665.5	66,289.8

（単位：千円）

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	92	講師謝礼17、展示品借用・指導等謝礼・委員等謝礼75
10節 需用費	6,310	展示等消耗品費1,075、燃料費65、印刷製本費1,883、光熱水費3,026、修繕料259 ほか
12節 委託費	6,199	警備保障委託952、警備保障委託996、エレベーター等保守点検委託1,854 ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	23	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23
その他	23,495	報酬5,677、給料7,342、職員手当2,170、共済費2,651、旅費104、役務費1,264、使用料及び賃借料598、備品購入費3,686、公課費3

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	600	講演会・講座等講師謝礼330、収蔵品整理指導等謝礼270
10節 需用費	5,850	展示等消耗品1077、ポスター・チラシ等印刷1,280、光熱水費3,153、修繕料200 ほか
12節 委託費	6,878	館内警備保障委託996、エレベーター等保守点検委託2,772、博物館魅力向上事業委託3,000ほか
14節 工事請負費	863	看板等設置工事863
18節 負担金補助及び交付金	156	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金130ほか
その他	38,429	報酬7,568、給料7,342、職員手当3,430、共済費3,327、旅費385、役務費1,712、使用料及び賃借料658、備品購入費14,000、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民が歴史、芸術、民族、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、講座活動津を実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	博物館の収蔵品整理・台帳化を確認し今後の博物館展示に生かしている。また、市民が地域についての理解と関心を深めるため、本館では館外活動「須坂きのこ展」や「臥竜山探検」、分館では企画展示を実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	博物館ボランティアの協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説等の収蔵品活動を展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

リニューアルオープン以後、機能型分散が総合博物館構築を進めた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

まるごと博物館構想を進めていく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

2次評価コメント

まるごと博物館構想の具現化に向けて、これまでの展示・講座手法を見直し、市民や地域と一体となる取り組みが必要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中村 紀子
	全体計画	令和 5年度	～	経費区分	－	内線	3623
事務事業名	4314 文化財調査研究事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	010000 文化財調査研究事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。国の重要伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業を進め、町並みの保存活用を図る。				包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等による文化財の保護や、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。 また国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置する。地域の合意形成に向けた説明会や戸別訪問を本格的に実施する。文化スポーツ課に「重伝建推進係」を新設し、重伝建に関する事務について令和4年度よりすべて移管する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の適切な保護に努めた。また重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の解除を行った。重伝建選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置し地域の合意形成に向けた説明会を実施した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の新指定等を進める。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		17,071	21,226
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	83	72
一般財源		16,988	21,154
人員数 (人)	正規職員	1.0	0.8
	会計年度(フル)	0.0	1.0
	会計年度(パート)	1.4	1.9
人員 コスト	正規職員	7,111.0	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	3,295.0
	会計年度(パート)	2,157.4	2,927.9
	計	9,268.4	11,911.7
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		26,339.4	33,137.7

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,167	埋蔵文化財等消耗品574、食糧費2 調査記録写真30、燃料費169、埋蔵文化財整理室光熱水費295、修繕費97
12節 委託費	1,939	遺構測量委託167、発掘調査に係るシルバー委託費1,560、文化財説明看板設置185、コピー機保守27
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	53	文化財保護協会負担金2、県立歴史館連携協定負担金51
その他	13,912	会計年度任用職員報酬・手当10,900、重機等借上料1,668、ほか1,344

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	120	文化財調査指導等謝礼120
10節 需用費	1,726	埋蔵文化財伝建等消耗品576、埋蔵文化財調査報告書印刷500、埋蔵文化財整理室光熱水費292、修繕費150、燃料費200、食糧費8
12節 委託費	4,583	発掘調査に係るシルバー委託費2,000、遺構測量2,000、文化財説明看板設置547ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	102	文化財保護協会負担金2、県立歴史館連携協定負担金100
その他	14,695	会計年度任用職員報酬・手当9,459、重機等借上料4,000 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	埋蔵文化財の破壊を防ぎ、開発が行われる場合は適切な記録保存を行うという埋蔵文化財の調査確認事業は、法的根拠に基づく、行政の重要な事業である。重要伝統的建造物群保存地区選定を目指す事業は、「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進」という施策目標に大きく寄与している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	埋蔵文化財について適切な保護が行われている。重伝建選定に向け、保存条例を制定し保存審議会を設置したほか、地域住民への説明会を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の予算で事業を実施しており、さらなる削減は困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる場合には発掘調査等を行い、遺跡の破壊を防ぎ適切な記録保存ができた。重伝建選定に向け、保存審議会を設置したほか、地域住民への説明会を開催して意識の高揚を図った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
埋蔵文化財の調査確認事業は、法的根拠に基づく行政の重要な事業である。		文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中村 紀子
	全体計画			経費区分	-	内線	3623
事務事業名	4315 文化財保存活用事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	020000 文化財保存活用事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。</p>				<p>「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。</p>			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<p>各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。 既存の文化財検索サイトを「須坂のまるごと博物館」サイトにリニューアルし、内容を充実させた。</p>	<p>「須坂のまるごと博物館」サイトとアプリを活用して文化財の情報発信を行った。文化財の適切な維持管理を行って文化財の保存と活用を図った。文化財を管理する個人に対し、補助を実施した。</p>
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<p>各種情報発信と、文化財の維持管理、保存、活用を進める。</p>	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」による文化財などの公開						
算式	累計公開件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	930	930	950	970	990	
	実績	910					
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用						
最終年度目標の根拠	令和3年度の実績に合わせて目標値を見直した						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		8,800	10,843
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,561	1,018
一般財源		6,239	9,825
人員数(人)	正規職員	1.1	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.8
人員コスト	正規職員	7,822.1	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	462.3	1,232.8
	計	8,284.4	6,921.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		17,084.4	17,764.6

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	413	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼413
10節 需用費	2,324	文化財各種修繕1,131、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費610、消耗品178、燃料費38、旧越家パンフレット印刷363、食糧費4
12節 委託費	4,267	文化財公開維持管理に係る委託995、保存活用倉庫等警備委託211、樹木等伐採委託325、除草等シルバー委託481、保存活用倉庫燻蒸業務委託2,255
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,049	文化財保存活用補助金1,049
その他	747	役務費567、土地等借上げ179 ほか

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	650	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼595、各種講座等での講師謝礼55
10節 需用費	1,749	文化財各種修繕等854、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費741、消耗品92、燃料費50、食糧費12
12節 委託費	2,308	文化財公開維持管理に係る委託1,098、文化財倉庫に係る警備委託225、樹木伐採委託335、除草等シルバー委託650
14節 工事請負費	1,298	浄運寺外トイレ洋式化工事1,298
18節 負担金補助及び交付金	1,500	文化財保存活用補助金1,500
その他	3,338	会計年度任用職員報酬・手当・保険料2,807、役務費366、土地等借上げ118ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市内に残る貴重な文化財を後世に伝えるため、市が主体的に保護措置を講じるほか、文化財所有者等への指導助言や補助等を実施する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	市民による文化財保存団体と協力しながら、適切な保存を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の予算の中で事業を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

指定文化財を活用した魅力的なイベント等を開催することで、市民へのPRや文化財保護に対する啓発に取り組みたい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

文化財保護という第一義的な事業を進めながら、活用策も練っていく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

保存を基本に、文化財への親しみや理解を進めていくことが不可欠である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢 隆宏
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3622
事務事業名	16850 伝統的建造物群保存事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費										
	事業	030000 伝統的建造物群保存事業										
事業目的						事業概要・効果						
国の重要伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業を進め、歴史的町並みの保存活用を図る。						歴史的町並みの保存・活用のため、国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し、地域との合意形成、文化庁との連携を進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 制度概要説明用パンフレット制作、住民向け説明会開催(町別説明会5回、住民向け制度説明会 4回) 文化庁との協議 (3年度まで文化財調査研究事業にて対応)
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 対象地区住民個別訪問による説明、意向確認実施 保存活用計画策定 文化庁との協議 (4年度から重伝建推進係を新設し、伝統的建造物群保存事業予算により対応)	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 特定物件同意書提出、集約 文部科学大臣への選定申出 国文化財保存審議会選定諮問・答申 重伝建地区選定の決定・告示
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		0	3,792
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	3,792
人員数(人)	正規職員	0.0	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.9
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	6,399.9
	会計年度(フル)	0.0	2,965.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	9,365.4
市民一人当たりの経費		0.0	0.3
総額		0.0	13,157.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	86	伝統的建造物群保存地区保存審議会委員報酬 86
10節 需用費	36	消耗品費 30 食糧費 6
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5	制度研修会出席負担金 5
その他	3,665	会計年度任用職員報酬 2,019、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員費用弁償 330、普通旅費 157 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	代々受け継がれた町家・土蔵など建造物と、周辺環境を、歴史的・景観的なまとまりとして、須坂市にしかない価値の保存活用を進めるため	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	歴史的価値を保存活用したまちづくりを進めるため、その根拠として国の「重要伝統建造物群保存地区制度」を活用する	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	歴史的価値を保存活用したまちづくりを進めるために、「重要伝統建造物群保存地区制度」を後ろ盾として財源の確保を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

令和4年度から文化スポーツ課に重伝建推進係が新たに設置された。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

須坂にしかない歴史的景観を後世に残していくため、まずは国の指定を受ける。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

伝統的建造物群保存地区の指定に向け、まずは、住民合意を進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	荒井 裕清
	全体計画			経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4320 文化施設管理事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費					
	事業	010000 文化施設管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市文化会館、須坂版画美術館などの芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。				<ul style="list-style-type: none"> ・須坂市文化会館、美術館等文化施設の管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう。 ・「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化施設の充実を図る。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。笠鉾会館ドリームホールを博物館分館とするため、2021年3月31日で指定管理者による管理を終了とした。	文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。展示資料品等の充実を図る。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 メセナホール及び美術館等について、次年度の指定管理者を選定する
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 旧小田切家住宅について、次年度の指定管理者を選定する。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		162,733	182,211
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	148	131,647
一般財源		162,585	50,564
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,133.3	2,133.3
市民一人当たりの経費		3.2	3.5
総額		164,866.3	184,344.3

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,845	修繕料1,845
12節 委託費	145,754	支障木伐採委託料424、指定管理者委託料(文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅)145,330
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,134	使用料及び賃借料(土地借上料、機器賃借料)15,134

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,773	修繕料2,773
12節 委託費	162,282	指定管理者委託料（文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅）161,690、支障木伐採委託料592
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,156	使用料及び賃借料15,156（土地借上料、機器賃借料）、備品購入費2,000（展示資料等購入費）

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	指定管理者の一般財団法人須崎市文化振興事業団において、経験豊富な人材を活用し、各種事業を執り行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	指定管理者制度導入から10年以上が経過し、制度自体の理解を含む制度運用自体の見直しが必要。市直営施設との連携が難しい、直接の指示ができない（お願いとなる）など、指定管理であることのデメリットもあり、一概に何でも指定管理に出せるものは出すという考え方もどうかと思われる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理者とともに施設の維持管理を行っていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各施設の老朽化が進んでおり施設管理が大変になっている。
軽微な修繕ではすまない事例も散見され、今後の維持管理費の在り方等について再検討が必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>老朽化した施設もあることから、より良い施設管理について考えていく必要がある。</p>		<p>各施設の老朽化が進んでいるが、引き続き指定管理者とともに施設の維持管理を行っていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
全体計画	平成30年度	～	令和 2年度	経費区分	実施計画事業費	内線	3622				
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費									
	事業	020000 文化施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
所管する文化施設が建設から年数が経過し、改修の時期を迎えているため計画的に必要な改修を実施する。						老朽化の解消や法改正に対応する改修を実施し、今後も施設が安全・快適に利用することが可能となる。 【ヒア補足】 ●必ずしも要求年度（R5）工事ということではないが、老朽化が進んでいる施設であり、外壁や屋根等の長寿命化のための工事を実施したい。 ●施設の統廃合方針が示されていない限り、施設を維持していくための長寿命化にかかる予防修繕を行うことは施設管理担当課として必要と考えている。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 笠鉾会館展示改修工事 笠鉾会館エレベータ改修工事 長寿命化基本調査（笠鉾・版画・人形）	メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 世界の民俗人形博物館長寿命化工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
アートパークイベント広場整備工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		1,052,304	35,000
特定財源	国庫支出金	0	17,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	409,685	15,700
	その他	8,023	0
一般財源		634,596	1,800
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	1,422.2
市民一人当たりの経費		20.1	0.7
総額		1,053,015.1	36,422.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	25,790	世界の民俗人形博物館長寿命化工事設計業務委託490 須坂市文化会館管理委託25,300
14節 工事請負費	1,026,514	世界の民俗人形博物館長寿命化工事21,934 須坂市文化会館非構造部材耐震化・長寿命化工事1,004,580
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,000	イベント広場整備工事測量設計業務委託料2,000
14節 工事請負費	33,000	イベント広場整備工33,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	旧学校給食センター跡地の未利用地をイベント広場兼駐車場として整備しアートパークと一体的に有効活用する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	イベント事業等の開催において、イベント広場兼駐車場整備により、観光客、利用者の利便性向上につながる。同時に実施する雑木の伐採により周辺環境の向上につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	今後必要となる大規模改修の財源確保が課題である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

前年度に引き続き、須崎市文化会館非構造部材耐震化・長寿命化工事を実施し、施設の安心安全、長期間に耐えうる改修を完了した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設の安全性を最優先し、施設の整備を進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

各施設の老朽化が進む。計画的な財源確保が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者 中澤 公明 全体計画 経費区分 経常的経費 内線 285-9041	
事務事業名	14139 文書館管理運営事業
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承
予算科目	01 一般会計 100612 教育費・社会教育費・文書館費 010000 文書館管理運営事業
事業目的	事業概要・効果
須坂市の歴史資料として重要な非現用公文書や古文書等を収集・保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに公開して、市民への説明責任及び市の適切な行政運営に資すると共に、文化の振興に資する	須坂市文書館において、保存年限経過後の行政文書を選別し、整理・保存するとともに閲覧等に供する。また、地域の古文書を収集し、目録整備・保存を行い、閲覧等に供する。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績 文書等の公開活用とともに個人等所蔵の古文書収集・整理目録化を通じて資料散逸を防いだ。	令和 3年度 実績 非現用公文書及び個人等所蔵の古文書を収集・整理目録化を行い、文書等の公開活用とともに史資料の散逸を防ぐ。また、収集史料の紹介を冊子、展示により行った。
令和 4年度 予定 <ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開 	令和 5年度 予定 <ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開
令和 6年度 予定 <ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開 	令和 7年度 予定 <ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開

指標名	文書館来館者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	200	250	300	320	350	
	実績	229					
指標選定の理由	2021年度で設置から4年が経過する新しい施設であるので、まず存在を知り、資料収集や学びの場として認識をしてもらうことが必要である。						
最終年度 目標の根拠	これまでの実績を鑑みて設定						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		8,119	9,647
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	89
一般財源		8,119	9,558
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	1.0	2.0
	会計年度(パート)	3.0	2.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	3,295.0	6,590.0
	会計年度(パート)	4,623.0	3,082.0
	計	8,629.1	10,383.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		16,748.1	20,030.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20	謝礼20
10節 需用費	839	事務用消耗品173 燃料費15 食糧費(来客用お茶)1、文書目録印刷650
12節 委託費	383	施設警備保障委託324、コピー機保守点検59
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史料協負担金3
その他	6,874	職員人件費(給料、報酬、手当)5,849、共済費717、旅費114、役務費165、機器賃借料21、公課費8

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20	謝礼20
10節 需用費	952	消耗品費168 燃料費15 食糧費3 印刷製本費766
12節 委託費	730	警備保障委託料337 コピー機保守点検委託料93
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史協負担金3
その他	7,942	職員人件費(給料、報酬、手当)6,508、共済費993、旅費175、役務費244、機器賃借料22

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	古文書や行政文書を適切に保存管理し、いつでも閲覧できる状態を保つことは行政の重要な役割であり、災害時や行政施策の転換期などに必要となる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	古文書や行政文書の保存管理は、市民の学習・研究に資するという点で有効である。増え続ける行政文書を適切に管理するために有効となるシステム構築に取り組んでいる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性に努めているが、古文書の取り扱いや保存にはある程度の費用を要する。また、専門知識・技術を有する人員が必要となる。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

公文書等の管理に関する法律第34条の規定により、行政文書のライフサイクル等規定する必要がある。古文書を解読できる職員の育成・確保が必要である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
古文書を解読できる者の養成が急務である。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
古文書の収集保管、活用をさらに博物館等と連携して進めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
		全体計画						経費区分		-		内線	3625
事務事業名	4322 体育施設管理事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	04021400 スポーツ活動の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費											
	事業	010000 体育施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。						体育施設の使用予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
体育施設修繕料 8,948千円 シルバー人材センター施設管理業務委託15,092千円 施設管理委託料17,670千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 9,000千円 シルバー人材センター施設管理業務委託21,000千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
体育施設修繕料 9,000千円 シルバー人材センター施設管理業務委託20,960千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	市民1人あたりのスポーツ施設利用回数						
算式						単位	回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	6	6	6	6	6	
	実績						
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため施設利用率を高める						
最終年度目標の根拠	2019年度の体育施設の人口一人当たりの使用回数が5.5回であることから利用回数を高くするために6回と目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		48,075	60,860
特定財源	国庫支出金	0	1,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	8,527	9,234
一般財源		39,548	50,626
人員数(人)	正規職員	0.9	1.2
	会計年度(フル)	2.9	3.0
	会計年度(パート)	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	6,399.9	8,533.2
	会計年度(フル)	9,555.5	9,885.0
	会計年度(パート)	308.2	0.0
	計	16,263.6	18,418.2
市民一人当たりの経費		1.2	1.5
総額		64,338.6	79,278.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	16,716	消耗品費919、燃料費800、体育施設電気料 7,448、上下水道料 1,355、修繕料6,013 印刷製本費122、ガス55、医薬材料費4
12節 委託費	16,053	除雪委託料335、警備保障委託33、電気保安業務委託料 403、施設整備委託料 1,641、シルバー人材センター施設管理業務委託料 13,501、他140
14節 工事請負費	1,298	北部体育館サッシ等改修工事1,298
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,008	会計年度任用職員報酬6,201、同手当1,028、同社会保険料1,146、土地借上料2,396、原材料費324、備品購入費647、手数料1001、他1265

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	20,760	消耗品924、燃料費910、体育施設電気料 7,941、上下水道料 1,777、修繕料 9,000、印刷製本費122、ガス66、医薬材料費20
12節 委託費	24,792	除雪委託料300、警備保障委託225、電気保安業務委託料403、施設整備委託料3,000、シルバー人材センター施設管理業務委託料20,700、他164
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,308	会計年度任用職員報酬等6,242、同期末手当1,312、同保険料1,290、土地借上料2,403、原材料費1,000、備品購入費170、手数料1488 他1403

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	スポーツの振興と市民の健康増進を図るため体育施設の維持管理を行なうことは必要である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	体育施設利用者には施設の充実には貢献している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	減免団体について、体育施設の使用料について、受益者負担をしてもらい施設の修繕等に活用してもらいように検討が必要である	

振り返り（決算年度の取組み課題）

事故が起きてからでは遅いので、施設の大規模修繕が必要

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設が老朽化しており、体育施設使用者が減少している現状である。施設の充実を図ることは、利用者の増加に結び付きやすいが、改修等の財源を確保することが難しい。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

スポーツ施設は、利用度、充実要望の高い施設であり、防災の観点からも施設管理は重要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺澤勝志
全体計画	令和 4年度 ~ 令和 6年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3628		
事務事業名	10589 体育施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021400 スポーツ活動の充実										
会計	01 一般会計										
科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費										
事業	020000 体育施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果					
安心安全に体育施設を使用してもらうために施設の充実を図る。						北部運動広場に観覧席を導入して、施設の充実を図る					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
柔剣道場耐震補強等工事設計 6,248千円 北部運動広場人工芝等工事測量、設計 990千円 体育センター耐震補強等工事 149,710千円 柔剣道場耐震補強等工事 45,760千円	北部運動広場人工芝等工事 178,145千円 柔剣道場耐震補強工事 繰越 98,285千円 " 設計監理 繰越 5,819千円
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
北部運動広場観覧席 1,100千円	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		178,918	1,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	83,400	1,000
一般財源		95,518	100
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,844.4	2,844.4
市民一人当たりの経費		3.5	0.1
総額		181,762.4	3,944.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	175,703	北部運動広場人工芝化等工事174,460、北部運動広場排水路浚渫工事1,243
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,215	JFAロングパイル人工芝ピッチ公認手数料330、検査料1,167、備品購入費1,718

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,100	備品購入費1,100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	試合等を観戦するための観覧席を設置することは利用者の利便性が高まる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設の充実を図ることで利用回数の増加に結びつくと予想される	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	財源は補助金等が見当たらず市単独事業費	

振り返り（決算年度の取組み課題）

北部運動広場の人工芝等工事を実施したが、事業費が限られていた為、他の整備ができなかった

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設整備の充実は利用者の増加に結び付くため重要であるが税源を確保することが難しい

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

施設整備は、防災の観点からも有効

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	寺澤勝志
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3628
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021400 スポーツ活動の充実						
会計	01 一般会計						
科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費						
事業	020000 生涯スポーツ事業						
事業目的				事業概要・効果			
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。				学校体育施設の開放や各種大会を主催し、スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 ニュースポーツの大会を開催し、スポーツ人口の増加につなげる。 子ども向けスポーツ教室を引き続き須坂市スポーツ協会に委託する。 【新】長野地域連携中枢都市圏事業に参加し、ホームタウン活性化、スポーツ拠点づくり、地域密着プロスポーツ応援を図る。 【ヒア補足】…総計施策No. 14（新規追加）			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ委託、リワイルドニンジャスノーハイランドのリフト券助成、各団体への負担金交付	各種スポーツ大会を主催、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成などを行う
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成などを行う	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	日頃スポーツをする・観る・関わっている人の割合				
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	40	40	40	40
	実績				
指標選定の理由	スポーツを通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や活力が醸成されるまちを目指す				
最終年度目標の根拠	平成26年度に市民意識調査で週1回以上スポーツをしている人の割合が31%とした結果からスポーツをする人の他にスポーツを観る、関わっている人の割合を加え9%増の40%として目標を定めて取り組むこととした				
指標名	子ども向けスポーツ教室の参加人数				
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	1,400	1,400	1,400	1,400
	実績				
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため子どもが参加するスポーツ教室の参加者を増やす				
最終年度目標の根拠	子どもの頃からスポーツに親しむきっかけづくりを行い、継続してスポーツに親しんでもらうために委託しているキッズスポーツの述べ参加人数を2019年度1356人を募集人員の関係もあるが1400人と設定した				
指標名					
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		30,873	45,387
特定財源	国庫支出金	0	300
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	7,600
	その他	1,226	9,249
一般財源		29,647	28,238
人員数(人)	正規職員	1.2	1.7
	会計年度(フル)	0.9	0.9
	会計年度(パート)	1.2	0.0
人員コスト	正規職員	8,533.2	12,088.7
	会計年度(フル)	2,965.5	2,965.5
	会計年度(パート)	1,849.2	0.0
	計	13,347.9	15,054.2
市民一人当たりの経費		0.8	1.2
総額		44,220.9	60,441.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	844	スポーツ教室指導者謝礼634、全国大会出場激励金210
10節 需用費	893	消耗品708、印刷製本費178 食糧費7
12節 委託費	1,779	子ども向けスポーツ教室委託料1,588、パルセイロ応援バス191
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	22,510	須高行政事務組合負担金(プール)20,485、信州須坂ハーフマラソン負担金225、リワイルドニンジャスノーハイランドリフト負担金 1,800
その他	4,847	会計年度任用職員賃金1,821、同職員手当259、同社会保険料301、郵便料27、清掃用具借上207、機器賃借料445、備品購入1,707 他80

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,386	スポーツ教室等指導者謝礼 1,066、全国大会参加者激励金 320
10節 需用費	947	消耗品 511、印刷製本費 178、修繕料116、食糧費142
12節 委託費	2,490	子ども向けスポーツ教室委託料1,644、パルセイロ応援バス事業事務委託246、人工芝イベント600
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	36,202	須高行政事務組合教育費負担金(プール)26,815、ハーフマラソン負担金 6,837、リワイルドニンジャスノーハイランドリフト負担金 2,550
その他	4,362	会計年度任用職員報酬1,642、同期末手当354、同保険料341、郵便料40、清掃用具借上料208、機器賃借料704、備品購入費417、他656

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	今まで取り組んでいる事業の他に新たに障がい者スポーツにも取り組みスポーツ振興を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	新規事業を実施することは有効と考えるが、今までの事業について見直しが必要	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	業務量が限られるので必要のある事業を優先的に実施した方がよい	

振り返り(決算年度の取組み課題)

事業量が増加しているため、事業の見直しが必要

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
誰でも気軽にスポーツに関係してもらいようなきっかけづくりの取り組みが必要である		スポーツに親しむ施策とスポーツ活動継続への支援が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	寺澤勝志
	全体計画			経費区分	-	内線	3628
事務事業名	4325 体育団体等助成事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021400 スポーツ活動の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費					
	事業	030000 体育団体等助成事業					
事業目的				事業概要・効果			
体育団体の活動を支援し、スポーツの振興に努める				須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツの競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、スポーツの振興を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,492千円 各スポーツ団体に補助金交付3,948千円	須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託 各スポーツ団体に補助金を交付 年2回開催される駅伝大会に負担金を交付
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託 各スポーツ団体に補助金を交付 年2回開催される駅伝大会に負担金を交付	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	スポーツ協会構成人数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	4,200	4,200	4,200	4,200		
	実績	3,703					
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるためスポーツ協会に加入している団体の構成人数を増やす						
最終年度目標の根拠	2019年度のスポーツ協会加盟団体の構成人数は4172人となっていることから4200人として目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		11,543	13,367
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		11,543	13,367
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,254.1	14,789.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,569	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託(スポーツ振興委託料)6569
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4,974	須坂市スポーツ協会補助金4824、各種負担金150
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,723	須崎市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託（スポーツ振興委託料）6723
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,644	須崎市スポーツ協会に対する大会開催負担金350、補助金6,294
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	貰う団体からすれば必要性があるが、スポーツをやらない人からすれば必要性がない	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	事業の成果が上がっていないように感じている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	補助金の期間や委託料の金額については、見直しをした方が良い	

振り返り（決算年度の取組み課題）

補助金に関しては、実績報告書の提出が遅くなり、次年度の4月中旬までに約8割交付する要望があり、短期間で審査して交付する時間が不足している。スポーツ振興委託については、スポーツ振興に関することで、スポーツ協会職員2人分の人件費相当となり、スポーツ協会の仕事の主であり、市で委託する必要があるのか疑問である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>費用対効果が現れていない、スポーツ団体存続のための補助金、スポーツ協会職員人件費分の委託であり、協会の仕事を中心に委託することに疑問を生じる</p>		<p>スポーツ協会の体制充実により、市民が主体となるスポーツ振興が期待される。本事業の経費規模の増加は必要だが、事業目標の達成度は高くなる、</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	